

## 令和5年度第2回塩竈市子ども・子育て会議 議事概要 報告書

1. 会議名	令和5年度第2回塩竈市子ども・子育て会議
2. 日時	令和5年11月17日(火) 18:30～
3. 場所	市民交流センター会議室(壱番館5階)
4. 出席者	<塩竈市子ども・子育て会議委員> 8名  <塩竈市> 7名  福祉子ども未来部長、子ども未来課長、課長補佐兼子ども企画係長、 子ども企画係主査、保育課長、課長補佐兼保育係長、 教育部学校教育課副参事兼課長補佐兼指導主事  <委託事業者> 1名

### <議事概要>

1. 開 会 司会(子ども企画係主査)
2. 挨拶 塩竈市子ども・子育て会議会長より
3. 議 事
  - (1) 報告事項
    - ① 保育事業の実施状況等について  
・資料1を使用し、保育事業の実施状況等を説明した。
  - (2) 協議事項
    - ① 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査について  
・資料2-1、2-2、2-3、2-4を使用し、ニーズ調査について説明した。
  - (3) その他
    - ① 令和5年度塩竈市子ども・子育て会議スケジュール案について  
・資料3を使用し、塩竈市子ども・子育て会議スケジュール案について説明した。
4. 事務連絡等
  - ① 会議の電子化について  
・別紙を使用し、会議の電子化について説明した。
5. 閉 会

## <議事内容>

### (1) 報告事項

#### ～～①保育事業の実施状況等について、事務局より説明～～

- 【議 長】 今ご報告いただきました「保育事業の実施状況等について」資料1でございますが、これにつきましてご質問等あればお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。
- それでは私から1点です。「2. 東部保育所の民営化について」、三者協議を行ったということではございますが、やはり新設と異なりまして、これまでの東部保育所にお子さんを預けてきた利用者の保護者の方々が、とにもかくにも不安に陥ることのないようにご配慮をお願いしたいと思っています。もちろん選定事業者におかれましては、そういったことは重々承知であると思うのですが、その都度寄せられる声に耳を傾けて進めていただきたいというのが私の意見でございますので、何卒よろしく申し上げます。ちなみに、新しい選定事業者さんの方ではもうスタッフの確保は進んでいるのでしょうか。
- 【事務局】 スタッフの確保について、所長は既に決まっております、所長を含めた形で三者協議会を行っております。あとはもちろん保育の引継ぎといったこともしっかり共に理解を深めながら進めているところでございます。
- あと、その他のスタッフにつきましては、アイグランで募集をかけておりますが、一方で、東部保育所の職員を引き続き雇用する方向性も示しております、全員ではないのですが、引き続き働きたいという方においては、継続して雇用していく予定でございます。以上でございます。
- 【議 長】 他にはいかがでしょうか。お願いいたします。
- 【委 員】 「2. 東部保育所の民営化について」の(3)選定事業者の下のところで、「障がい児保育の実施」とあるのですが、この障がいの想定というのは精神障害、身体障害、内部障害、全て対応するということではないですね。特に対応するものを教えてください。
- 【事務局】 具体的なところについては協議したうえでやっていく形になります。年齢が低いものですから、明らかに障がいと判定される、されないというところもございまして、ただ発達に懸念がある方や発達に遅れがあることで認定を受けた方など、そういったお子さんを受け入れるような形で進めていきたいと考えておりました。
- 【委 員】 これは判定が云々ではなくて、受け入れ態勢があるかないかということが問題だと思います。私の知っている方で、内部障害を持っているお子さん、塩竈市にはそういった子どもを受け入れる保育所・保育園がないと言って、多賀城市に行っている方がいらっしゃいましたので、塩竈市ではどうなのかなと思ひ質問しました。

【事務局】 障がいによって様々あるかと思うのですが、例えば医療的なケアが必要な方などについては塩竈市ではまだ受け入れてきておらず、アイグランについてもそこまでは想定していないところがございます。そういった医療的ケアが必要な方、看護師の配置や専門の機器等を設置しているわけではございませんので、そこまでは想定しておりませんでした。

【議長】 よろしいでしょうか。

非常に貴重なご指摘でした。障がい児保育と書いてありながら、そのお子さんの背景によって、サポートの中身は違って来ると思います。そのため、病児病後児保育を含めてだと思いますが、そういったことのできるできないは、利用者からするととても大切なことだと思しますので、是非その辺は詰めていく中で、詳細なことが分かりましたらお知らせいただくということでもよろしいでしょうか。よろしく申し上げます。

他にいかがでしょうか。先ほど申し上げた通り、コロナやインフルエンザのこともありますので気軽にという訳にもいきませんが、令和6年には保育所の新設も2件、それから東部保育所の民営化もございますので、以前、隣の保育園へ皆さんと見学に行ったのと同じように、この会議の方々に日中行ける方々がもしあれば、実際の子どもたちの保育の様子も見てみたいなど個人的には思っているところです。

他によろしいでしょうか。次に進めさせていただきます。協議事項に移ってまいります。協議事項「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査について」事務局の方よりご説明お願いいたします。

## (2) 協議事項

### ～～①子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査について、事務局より説明～～

【議長】 大変詳細にご説明をいただきましてありがとうございました。質問等ございましたらお願いいたします。

【委員】 回収方法について伺いたいです。今回からウェブ回答も可ということで、今の時代に即した回答方法でよいと思います。ただ少し懸念があるのが前回の調査の回収率のところを見ると就学前児童が62.9%で、小学生73.6%で結構回収率が高いなとは思いました。それはこの調査票を手渡して、学校や保育所、幼稚園を經由して渡して、そこで回収をしているわけですね。だとすると、例えば学校や保育所側でも、誰が出していて、誰が出していないというようなことの確認というのは、もしかしたらしていたのかなという気がします。そう考えた時に、ウェブ回答とした場合、もらった調査票というのはどのような扱いになるのでしょうか。

【事務局】 それでは、お答え申し上げます。今回、事務局の方でアンケート調査の回答についての進め方につきましては、紙ベースでの回答とウェブでの回答、両方に対応できるような準備でアンケート調査に臨みたいと思っております。調査票につきましては、このまま施設の方で預かってご提出される方と、この調査票にバーコードをつけて携帯をかざし、そこから回答するという運びで、ウェブの部分については設計を考えておりました。こちらの方では紙ベースでもウェブでも、どちらでも対応ができるように進めていく予定であります。

【委員】 すみません、それは理解をしているのですが、例えばウェブで回答したかどうかというのは園側で把握できるのでしょうか。例えば、この紙で戻ってくれば、この人が出したというのがわかりますよね。ですがウェブで回答した場合というのは、これを別に提出する必要がないので、園の方ではウェブで回答したかどうかというのが把握できないため、結果として、そこを確認する手立てがなければ回収率が下がってしまうということが起こるのではないかと思いました。その辺りは、例えばウェブで回答した場合にも、紙は園に戻してもらおうとか、返してもらおう、提出してもらおう、そういった仕組みを考えるのかどうかということを伺いたかったです。

【事務局】 今、委員からご説明があったような回答方法の部分につきましても、こちらでコンサルタントの方と相談しまして、より回収率が上がるような手立てを検討し考えていきたいと思っております。ありがとうございます。

【議長】 大変貴重なご意見だったと思います。ありがとうございます。

前は、委員のご質問にあったように、回収側は回収率を上げるための働きかけをしたのでしょうか。それとも預かったものをただ届けただけなのでしょうか。そこがあるかどうかというのは結構大きいですね。

【事務局】 その部分につきましては、保育所なり、職員の方から声掛けなどをしていただきながら、なるべく1人でも多くの回答が得られるような取り組みを行ってきたと、こちらの方では確認しております。

【議長】 ありがとうございます。だとすると、余計にその仕掛けは必要で、今までも、ただ集まってきたものをダンボールで回収して届け出ただけであったのなら、それがオンラインになっただけで、便利な方ではないのだけれども、その働きかけがオンラインでなくなってしまうところに対してだと思えますので、そのような整理でくれぐれもよろしく願いいたします。例えば、バーコードとおっしゃっていましたが、そのバーコードが個人に紐付いているものが何かあるなら、それで誰が出したか出さないかというのはオンラインでも確認できるわけでありまして。ただのQRの役割でしかなければ、誰が飛んだか、個人がわからないということも起こってくるのかなと思っていたのですがどうでしょうか。

【事務局】 私の方からお答えさせていただきたいと思います。こちらに関しては、前回各園、あるいは小学校、学校の方で配布も回収も行ってもらっているということで、非常に高い回収率を実現できているというところで、そういったところを是非活用させていただきます。先ほどご意見があったように、例えばウェブで回答された方に関して、何かお返事をいただくなり、そういった確認も含めて上がるようにしていきます。アナログになるかもしれないですが、1番確実な方法でありますので、各幼稚園、保育所、各学校の方のご協力をいただきながら、この回収の確認に関しては是非させてもらいながら対応させていただければと思っております。以上です。

【議長】 今、重ねてご説明いただいたので少し安心したところであります。例えば、1つの案としては、先ほど委員が半分言いかけていましたけれども、この用紙自体に「オンラインで回答します、しました」のようなチェックの形で、空白のまま、もう返すだけとすればよいのかなということもあります。一番は回収というより、答えない人のニーズのところが重なっているような気がします。答えている人はそれなりに子育てに対する意欲の高い人で、前向きな子育てを実現したいと思っている人がお答えになっている可能性もあるかなと思いました。そうすると、前回高いと言っても、回収率の30%程度は答えてないわけです。そこをどう捨っていくか、そこについて、複数の選択肢を用意したというのは、すごくよいのですけれども、是非何か少しでもニーズを拾い上げられるような工夫を引き続きお願いしたいと思います。

【事務局】 はい、ありがとうございます。

【議 長】 他にご質問、いかがでしょうか。

これまでもこの質問項目の素案というものは、この会議でも皆さんにお披露目してきて、かつご質問があればということ踏まえて作っているものなので、質問項目の細かい一つ一つのことに関しては、過去にご了承いただいていると考えてもよいのかなと思うのですが、今のような配布なり、回収のことであるとか、そういったことも含めて、ご意見がもしあればお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

【委 員】 先ほどの続きのようなことになってしまうのですが、やはり思い返しますと、前のアンケート調査の時に、保育園としては、この予定の期日より前に締め切りを設けて、手渡しする形を取りました。なのでお母さんたちとしては、保育園からもらった書類というイメージがあって、それが出さなきゃいけないという気持ちを持ってもらったのかなと思いました。先ほどからも話があったので、そういう手があれば大丈夫かなと思ったんですが、これを最初に見た時に、ウェブで出しましたかというような聞き方は、保育園としてはなかなかそこまではできないと思いました。ただ、保育園や幼稚園に通ってないお子様方で、こういったウェブを使って回答ができるということは、もしかしたらその方たちの意見を拾えるかなというのもあるので、どちらをとったらよいかというのを少し思っていました。保育園としては、そのような形を取っていたということでご報告いたします。

【事務局】 ありがとうございます。私は5年前、この課にいなかったものですから、空気感、そういった部分も含めて疎いところがございます、なかなかこちらのアンケート調査の進め方につきましても、少々苦労しているのが正直なところでございます。今、委員がおっしゃられたように、お母さん方に配慮しながら、そしてどこまでその回収率を上げることができるのか、それをギリギリまで事務局とコンサルタントで協議しまして、なるべく回収率が高い結果となりますよう、こちらの方でも頑張っていきたいと思っております。ありがとうございます。

【議 長】 ありがとうございます。今のやり取りで、保育所を通して配布する時の問題は鮮明になったかと。つまり、こちらからオンラインで出しましたとかというのは聞けないですね。そもそも必須ではないですから、あくまで皆さんご協力ということなので、出さないという選択肢もありなわけですので、一つはさきほど言ったように、オンラインで回答しましたというチェックをいれて戻してもらう形であれば、把握はできるかなという感じはします。何かよい案を考えていただければと。

他にごございますか。

【委員】 もう一つ伺いたいのが、就学前の子どもさん向けの、資料2-2の問23です。今回手引で追加となった項目と、先ほどご説明があったかと思うのですが、ここで、保護者の用事によって泊まりがけで年間何日ぐらい家族以外に預ける必要があると思うかということについて聞きたい項目だということで、手引でこの項目について聞くことが決まっているということだと思うのですが、ただ見たときに「保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）」とあるが、用事かなというところがしっくりこないなと思いました。

あともう一つは、その前の問22のところ、ここにも保護者の用事という言葉が出てきます。この中身が「冠婚葬祭、保護者・家族の病気など」と書いてあり、必ずしも問22で保護者の用事として挙げられているような事柄と問23で挙げられているような事柄が一致しないです。この辺は、答える側はどういったことをイメージするのかによっても、答え方が変わってくるような気がするのですが、何か少し矛盾というかズレみたいなのを私は感じてしまうのですけれどもいかがでしょうか。

問23については聞かないといけない項目なのですよ。ここの聞き方というのは必ずこの形で聞かないといけないと決まっているものではないでしょうか。それとも表現はある程度修正してよいものではないでしょうか。

【事務局】 この表現については、あくまで国の方で出してきた案といった捉え方で結構だと思います。なので、より市民の人に分かりやすいような表現として、事務局の方でカスタマイズすることは十分可能であると考えます。委員がおっしゃるような、どうやったら本当にこの設問の内容が市民の方々に伝わるのか、そのような部分もこちらの方で検討しまして、より良い文案となるようにしていきたいと思っております。

【議長】 修正できるということで、そうすると一つの案としては、保護者の用事のカッコの中は同じ文言にしておいた方がよいのではないかと。あとは、「用事」と言っておきながら、冠婚葬祭と育児疲れ・育児不安を同列に扱うのもどうなのかなと思っておりました。そうすると、「保護者の事情」だとカテゴリー同一でいけるかと。「用事」だと疲れたことが用事なのかなと思ったりしたので、はてながつくと、こういったアンケートは答えづらくなってきます。そういった意味では、「保護者の事情」という言葉で例えばいかがですか。あとは括弧内の統一というあたりが落としどころかなと思いました。

【事務局】 大変よいご意見をいただきましてありがとうございます。こちらの方でも先ほども申し上げましたように、ご意見いただいたことも踏まえ、より分かりやすいような表現で進めてまいりたいと思います。「保護者の用事」ではなく「事情」、またカッコ内を統一する、このような考え方につきましては、基本的なことだと思いますので、ご指摘いただきありがとうございます。このように修正してアンケート調査をやっていきたいと思っております。ありがとうございます。

【委員】 すみません、もう一つ別の項目なのですがよろしいですか。9ページの問14と問15の形式的なものなのですが、回答する時に利用回数を回答する欄が他のところはもっと大きい四角な気がするのですけれども、四角がすごく小さいです。

【事務局】 はい。少し小さかったかもしれないです。レイアウトの変更は今でも十分可能なので、より見やすいようなレイアウトで調査を進めて参りたいと思います。ありがとうございます。

【議長】 ありがとうございます。細かいところ指摘していただいてありがとうございます。他にございますか。よろしいですか。

私が見た感じではかなりボリュームなのですが、その中でも削るところを削っていただいて。なんでもかんでも聞けばよいかというと、やはり皆さんアンケート疲れしていますので、そうすると回収率が下がってしまいますし、でも聞かなければいけないところもあるということで、落とすところはここなのではないかと思います。私としては、もう前回も見ていますし、あとよろしいのではないかと。

あとは、分析の仕方であったりするのですが、例えばその他の事項のところ、自由記述がありますよね。自由記述として拾い上げるだけではなく、ここを今流行りのテキストマイニングの手法を使うとか、業者さんがいらっしゃるんで、単純集計だけではなく、少し視覚的にも分かりやすいような集計と分析ができると、もちろん個人の意見も大事ですが、意見のまとめりとして、こんなことが塩竈在住のお父さんお母さんたちが考えてるというようなことが見えてくるかなと思います。余計なことかもしれませんがお願いできればと思いました。

【事業者】 私より回答させていただきます。自由記述の分析につきましては、先ほどお伝えいただいたようにテキストマイニングを実施することが可能ですので、実施させていただければと思います。あとは出てきた意見についても、こういった意見が多いのかというところを見ることによって、保護者の方がこういったことを感じられているのかが、件数ベースで把握できると思いますので、そういったところも整理させていただければと思います。各設問の分析にあたっては、前回比較を行うことによって5年前からどう変わったのかが見えてくると思いますので、そういった方法で分析の方を進めていければと思いますのでよろしくお願いいたします。

【議長】 頼もしいご回答ありがとうございます。まずは5年前と比べるところも1つ大きいので、だからこそあまり質問項目を変えないで調査をお願いするということだと思います。あとは出てきた傾向というものが、その属性によってどう違うか変わらないかということです。その辺りも様々な項目を立てて聞いていますので、聞きっぱなしで、円グラフだけで出てくるようなことがないように、掛け合わせて見ていくようなこともお願いします。私や委員もその辺は専門家ですので、ご助力いただきながら進めていけるとよいのかなと思います。

他にもしなければ、これで協議了承ということにさせていただければと思いますがよろしいですね。はい、ありがとうございます。それでは、その他に移って参ります。その他は1点で、「令和5年度塩竈市子ども・子育て会議スケジュール案について」ということで事務局より説明をお願いいたします。

### (3) その他

#### ～～①令和5年度塩竈市子ども・子育て会議スケジュール案について、事務局より説明～～

【議長】 ありがとうございます。詳細なスケジュール案についてご提示いただいて恐縮しております。これは是非お願いしたいとリクエストしたのは私なので。趣旨はここまで細かいものを出す必要はなく、もちろんわかっているものは出していただいてよいですが、これを出したからと言って、ここに脅迫的になりすぎることもなく、まず委員の皆さんは恐らくいつ頃、何回開催されるかという年間スケジュールをざっくり知りたいということが大きく1つあるだろうと思います。それからもう一つは、お向かいの保育所に出かけた時もそうですが、イレギュラーに日中の時間帯で行うということがもしあれば、それは1回目のときにご提示いただく、早めにご提示いただくとよいのではないかと趣旨ですので、次年度におかれては、第1回目の時にこれを是非出していただいて、ここまで詳細なものでなくてももちろん結構ですので、お進めいただくと委員の出席率も上がってくるのかなと存じておりますので、どうぞご配慮よろしくをお願いいたします。まず、こんなに詳細に作っていただいたことに対しては心より感謝を申し上げたいと思います。

これについては特に質問はなくというところですので、次回、次々回は仮ですが、大体この辺りでということで、見通しを持っていただけたら、それがこの趣旨に沿ったものでございますので、どうぞご理解のほど、委員の先生方におかれましてもよろしくをお願いしたいと思います。

以上をもちまして議事を終了とさせていただきます。毎度スムーズな議事進行にご協力いただきましてありがとうございます。それでは、事務局の方に進行をお返しいたします。

【事務局】 ありがとうございます。ここからは事務局が進行いたします。それでは、事務連絡に移らせていただきます。事務局より1件ございますので担当より説明させていただきます。

#### 4. 事務連絡等

##### ～～①会議の電子化について、事務局より説明～～

【事務局】 その他、皆様からの確認事項等はないでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、ないようですので最後に福祉子ども未来部長より閉会のご挨拶を申し上げます。

##### ～～閉会の挨拶～～

【事務局】 以上をもちまして、令和5年度第2回塩竈市子ども・子育て会議を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。